



松島町立松島第五小学校

〒981-0205

宮城県宮城郡松島町幡谷字新田 5 番地 1

TEL (022) 352-2101/FAX (022) 352-2109

[開校記念日 7 月 15 日]

1. 学区、学校の概要

本校は松島の北端にあり、周りの丘陵地から小川が流れ、里山に恵まれた自然豊かな田園地帯である。南と東は松島丘陵地に囲まれ、北と西は品井沼が開墾された水田地帯で、大崎市鹿島台と黒川郡大郷町に隣接している。学区北側には改修された吉田川が西から横切り、その下を潜るサイフォンにより鶴田川が高城川と穴川に注ぎ、南に流れている。かつて北部に広がっていた品井沼は、旧志田・黒川・宮城郡



にまたがる大きな沼で、当学区にも広がっていた。江戸時代の元禄期と明治時代に潜穴(トンネル)によって排水する干拓工事が行われ、また、近年の河川改修により見事な水田地帯となっている。その干拓の歴史を物語る遺跡は学区内に多く点在しており、資料館も建てられた。学区は幡谷(はたや)と上竹谷(かみたけや)の二つの地区からなっている。JR 東北本線が、学区中央に品井沼駅をおいて南北に貫き、国道 346 号が西側を走っており、交通の便は比較的良好なところである。平成 15 年、学校の北側にくぬぎ台団地が造成され、周囲の環境が大きく変容した。

本校は、明治 9 年に高城小学校枝校として幡谷小ヶ谷地区に創立され、昭和 24 年に松島第五小学校と改称、昭和 25 年に現在地に移転した。現校舎は昭和 61 年に建てられた。平成 25 年度の児童数は 87 名、PTA 会員数は 66 名である。

地域の人々や保護者には本校の卒業生が多く、「地域の学校」との意識が強いためにとっても協力的である。また、校地は日本の愛唱歌「どんぐりころころ」の作詞者・青木存義氏の生誕の地である。地域には「どんぐりころころ」を始め、郷土の遺産を後世に受け継いでいこうという姿勢が強く見られ、地域学習の環境づくりにより影響を与えている。

2. 学校経営の概要

(1) 教育目標

学ぶ意欲と豊かな心をもち

健やかでたくましい子どもの育成

<目指す子どもの姿>

○よく考え自ら学ぼうとする子ども(知)

○明るく思いやりのある子ども(徳)

○しなやかでたくましい子ども(体)

<目指す学校づくり>

○安全で安心な学校

○子どもも教師も学び合う学校

○花と緑と歌声のある学校

(2) 学校経営の基本方針

公教育の本質を踏まえ、宮城県・仙台教育事務所・松島町の教育方針に従い、保護者や地域社会との連携のもと、全教職員の熱意と指導力を結集して、生き生きとした豊かな感性と基礎学力の涵養に努め、次の世代に貢献できる心やさしく、たくましく活躍する児童の育成を目指した学校経営を推進する。

(3) 本年度の重点努力事項

①一人一人を生かす学習指導の充実

②心の教育の推進・道徳教育の充実

③一人一人を大切にす生徒指導の推進

④健康安全教育の強化

⑤児童が安心して生活できる学校

⑥特別活動の充実

⑦特別支援教育の充実

⑧教職員の資質・能力の向上

⑨開かれた学校・地域力活用の推進

⑩特色ある学校づくりの推進

3. 現職教育計画

(1) 基本方針

①学校の教育目標具現化のために、効果的な達成を目指して研修をすすめる。

②教材研究に努め、適切な教材教具を創意・工夫し、活用しながら指導技術の力量を高めていく研修をすすめる。

③職員の特性を生かす研修や、健康の保持・増進と親睦を図った研修も行う。

④各種研修会、研究会に積極的に参加し、また、その成果を分かち合えるようにする。

⑤全職員が参加できる組織体としての研修をすすめる。

(2) 校内研究計画

①研究教科 国語科

②研究主題

「日本語に親しみ、生き生きと学習する児童の育成」

～国語科における「読むこと」を中心とした指導を通して～